

最先端を、親子で学ぼう ～東京湾岸

特定非営利活動法人東京湾岸コミュニティ
理事長 浅見 純一郎

1.当取組の背景と趣旨

はじめに

東京湾岸地域には、少子化の日本でありながら、多くの子供たちが住んでおります。また、オリンピックが開催されるなどエネルギーギッシュなこの土地で、次世代の日本を支える子供たちを育成しようと考えました。

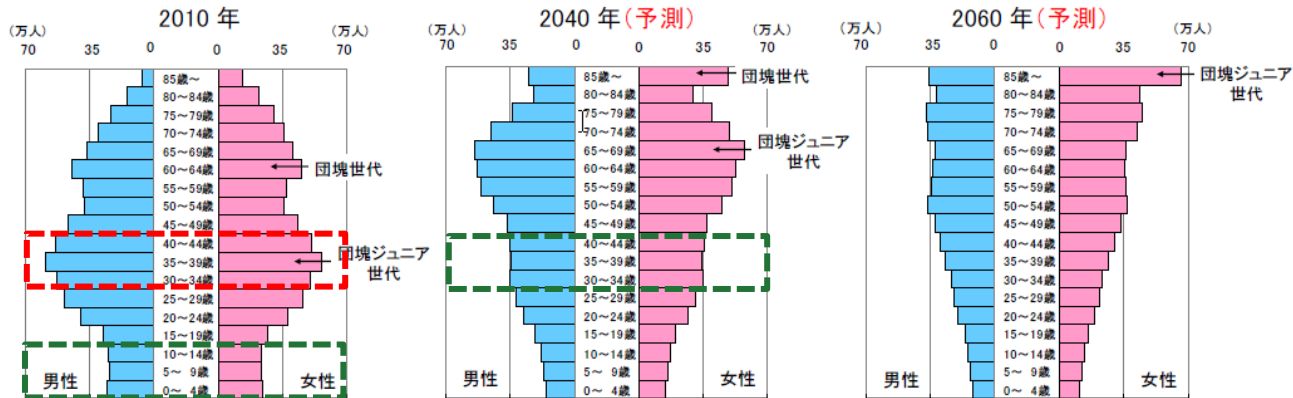
なお、地域には、芝浦工業大学、産業技術大学院大学等の大学、日本科学未来館等の科学館、IHI等の大企業、及び、東京国際交流館などが位置し、国内外の最先端の技術や情報が生まれており、子供たちに貴重な機会を提供できればと思っております。



1.1.企画の背景-少子高齢化

「新たな長期ビジョン(仮称)」によると、2040年以降、14歳以下の年少人口が減少し、老年人口の割合が高い“つぼ型”に変化していく想定です。また、働き盛りの年代(30-45歳)は、2010年現在、団塊Jrの世代で一定数の割合を占めているが、2040年には、全人口に対し少ない割合になっている見込みです。

＜東京都の人口ピラミッドの推移＞



(資料)「東京都男女年齢(5歳階級)別人口の予測」(平成25年3月)(総務局)、「国勢調査」(総務省)等より作成
(備考)2040年以降は知事本局による推計

また、これからの若者の出生率の低下が加速するとより、社会の活力低下、社会保障や地域での支え合いといった社会のシステムそのものの崩壊を招きかねません。

1.2.企画の背景-グローバル化への対応

グローバル化のニーズ

- 少子高齢化に伴う国内人口の減少及び、アジア・アフリカ等における人口が増大に伴い、マーケット及び生産拠点は海外へ加速していきます。
- 2020年東京夏季オリンピック・パラリンピックの開催決定などにより、海外からの観光客が増大することが想定されます

グローバル化への現状

- 少子高齢化に伴い、将来の労働人口は減少する。
- OECDの調査では、日本人のうち国外で学ぶ学生は1.0%にとどまり、日本人の「留学離れ」が鮮明になってきており、若者世代を中心に海外への進出に足踏みする傾向も言われてきています。
- また、日頃から外国語や異文化と触れ合う機会が不足しており、外国人とのコミュニケーションがしづらい環境にあります。
- 非正規雇用者割合の上昇、雇用のミスマッチの顕在化、ひきこもり等社会問題の存在など、多様化された世の中に対応できず、やりがいを持ってない若者が存在しています。

社会的使命

【教育】

- ・世界で活躍できる「生命力」の強い子供を育てる

【地域】

- ・子供とその家族に対して、地域が連携してサポートする

【五輪】

- ・機会を生かし、恒久的な資産を整備する

子供や若者が未来への夢と希望を持てる都市の創造

(「新たな長期ビジョン(仮称)」の政策の柱)新たな長期ビジョン(仮称)

1.3.企画対象エリア：2030年の東京を支える湾岸3区

・少子高齢化の日本の中、産業構造の転換に伴いマンション建設が進み、豊洲・品川・芝浦・大崎は人口が急増しました。特に、30代の家族が多く住み始めたため、多くの子供たちが住んでいます。平成25年一月、現在、江東区に6万人、港区に2,7万人、そして、品川区には、3.9万人の15歳以下の子供たちが住んでいます。

・また、地域には、芝浦工業大学、産業技術大学院大学等の大学、日本科学未来館等の科学館、ソニー、IHI等の大企業、及び、東京国際交流館などが位置し、国内外の最先端の技術などが発信されています。

・さらに、2020東京オリンピック・パラリンピックは、この東京湾岸地区の3区（港区、品川区、江東区）にて多くの競技会場があります。



湾岸3区の15歳以下の人口

○平成25年の江東区の人口

- 15歳以下の人口が凡そ6万人

0歳～14歳			15歳～64歳			65歳以上			総数		
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
30,391	29,063	59,454	166,094	158,668	324,762	41,922	54,133	96,055	238,407	241,864	480,271

○平成25年の中央区の人口

- 15歳以下の人口が凡そ1.5万人

0歳～14歳			15歳～64歳			65歳以上			総数		
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
7,397	7,189	14,586	45,463	47,866	93,329	8,389	12,324	20,713	61,249	67,379	128,628

○平成25年の港区の人口

- 15歳以下の人口が凡そ2.7万人

0歳～14歳			15歳～64歳			65歳以上			総数		
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
13,892	13,379	27,271	79,848	85,337	165,185	15,705	23,377	39,082	109,445	122,093	231,538

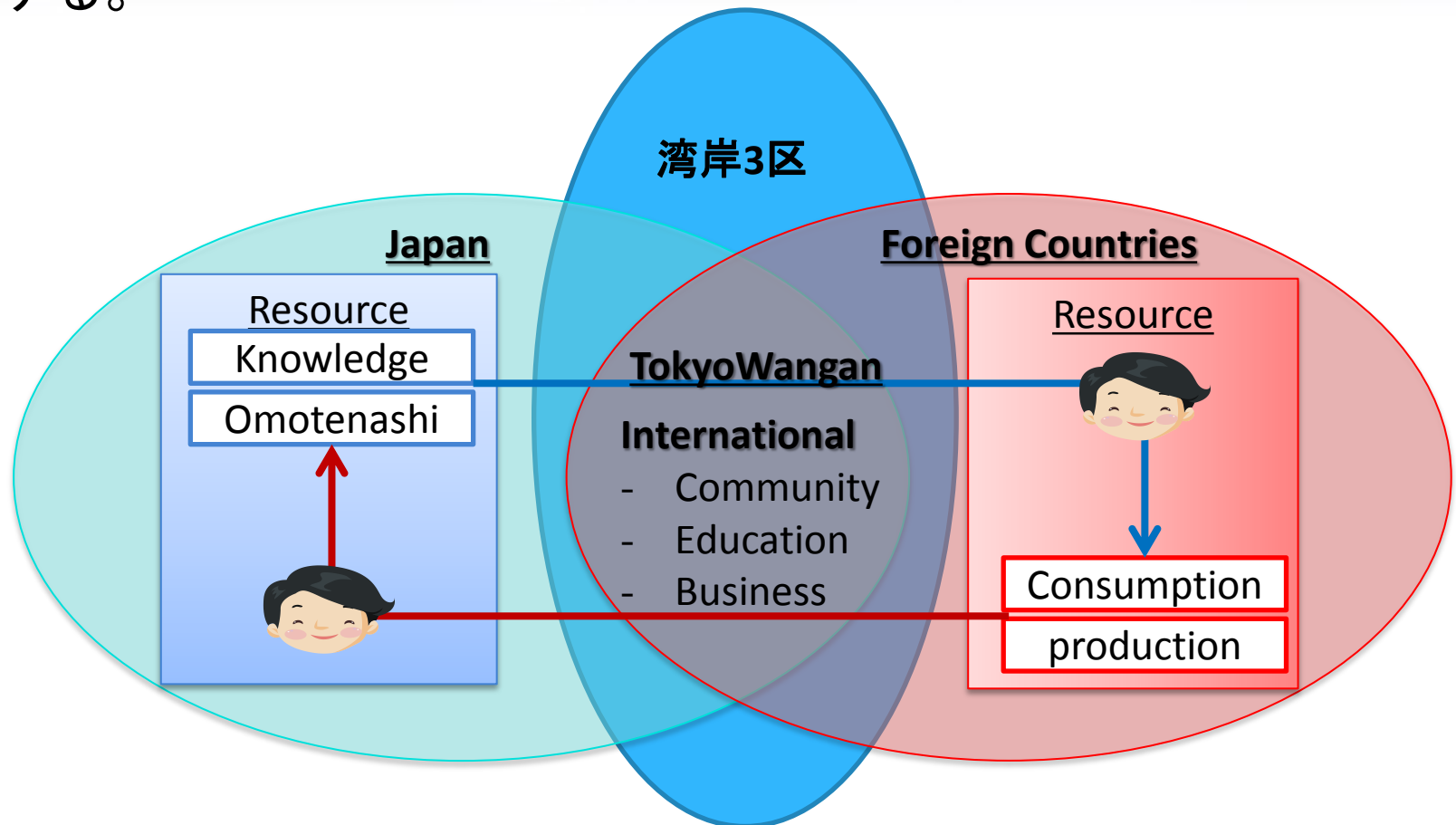
○平成25年の品川区の人口

- 15歳以下の人口が凡そ3.9万人

0歳～14歳			15歳～64歳			65歳以上			総数		
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
20,006	19,201	39,207	128,759	124,597	253,356	31,028	42,993	74,021	179,793	186,791	366,584

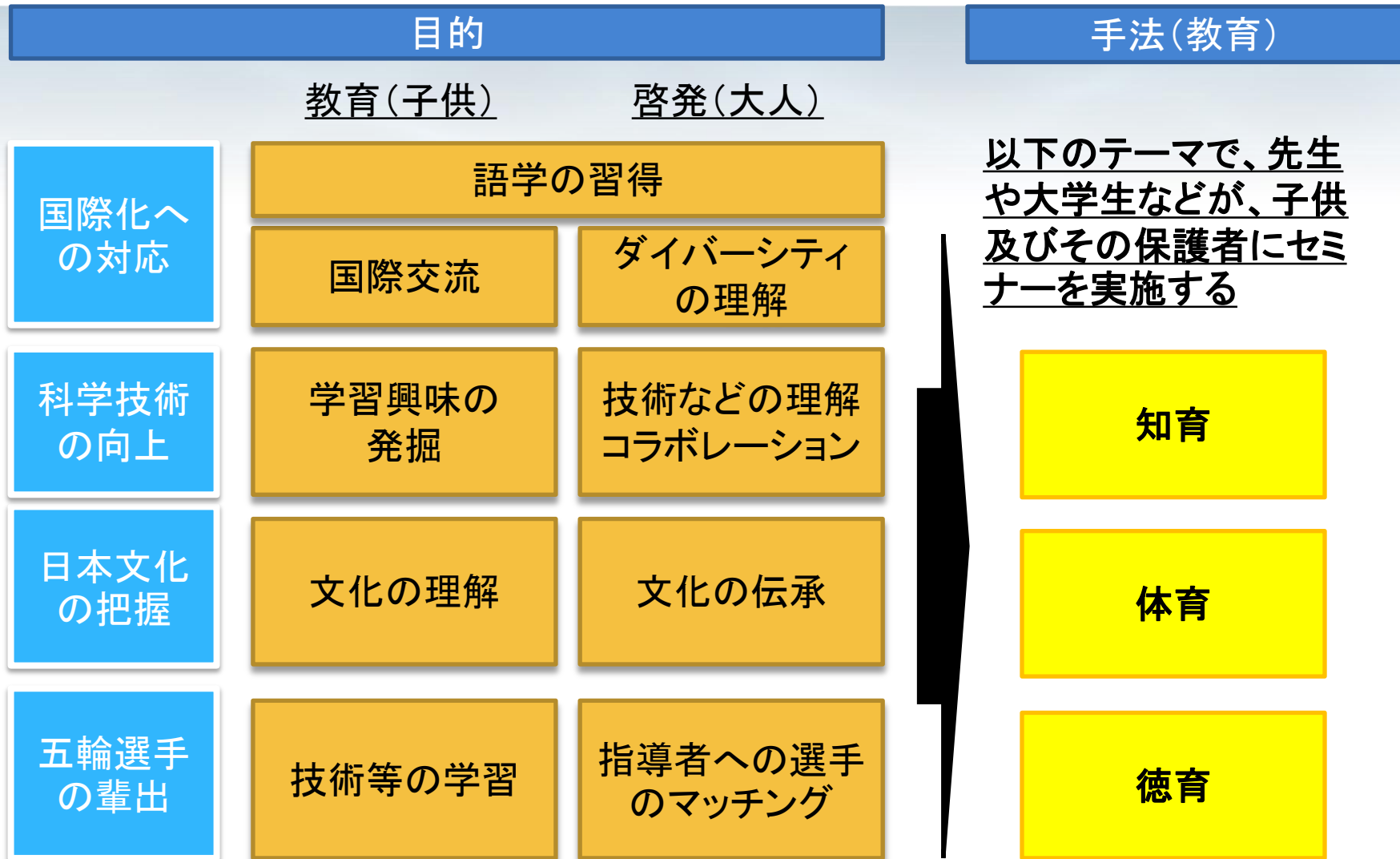
1.4.企画を通じた：2030年のめざしたい姿

東京オリンピックの機会を生かして、学校・研究機関・住民などの地域社会全体が、世界で活躍できる「生命力」の強い子供たちを育成する。



2.企画内容

2.1.1. 教室運営（教育テーマ）



2.1.2.教育内容（概要）

【概要】

地域内の学校・企業・機関を中心に、**知育・徳育・体育**に関する内容の、最先端のノウハウや情報を子どもとその保護者に対して提供していく講座を体系的にセミナーや実習形式で実施していきます。

【形式】

・セミナーや実習を含めた各テーマに関する講座

【講師】

・大学、企業、機関の先生や関係者

カテゴリ		テーマ
知育	物理学	ペットボトルロケットを作ろう
	天文学	望遠鏡を作ってみよう
	3Dプリンター	3Dプリンターに触ってみよう
徳育	海外文化	アジアを知ってみよう
	日本文化	親子でおもてなし塾
体育	夢	オリンピック選手の話を知ろう。

2.1.3. 想定される効果・成果

想定される効果・成果

	2013年	2020年	2030年
イベント	豊洲市場開場	東京五輪開催	
日本の人口	1億2800万人	1億2400万人	1億1700万人
東京の人口	1320万人	1330万人	1300万人
五輪へ	<ul style="list-style-type: none">✓ 外国人をもてなす環境整備<ul style="list-style-type: none">✓ 街の人が外国人と話ができるようになる✓ ダイバーシティを理解するようになる→ ユニバーサルデザインの整備と理解✓ 若い世代が外国人とともに五輪をサポート<ul style="list-style-type: none">✓ ボランティア精神を養う✓ 国際交流をすることにより、世界の若者たちが運営を支えるようになる✓ オリンピック選手を輩出する。		
将来へ (産業等)	<ul style="list-style-type: none">✓ 日本における知財を育成し、海外へ輸出する<ul style="list-style-type: none">✓ 科学技術を中心に、先進的な技術を身に着ける環境を整える✓ 語学及び文化の壁をなくす✓ 海外企業の日本進出を促進させる<ul style="list-style-type: none">✓ 国際交流を行うことにより、日本の魅力をアピールする。		

